

「労働組合とは？」の前に

会社と学校の違いについて

会社の言うとおりにしていれば間違いない」、このように考えている方が非常に多いように思われます。

確かに、「出る杭は打たれる」ことから、出来るだけ荒波を立てず、無難に生きていきたいと思うのも、無理はありません。

しかし、ここでみなさんの学生時代と現在を比べてみて下さい。**先生に怒られないように、宿題を終わらせておこう、もしかして、これと似たような感覚で社会人生活を送っていませんか？**

もちろん、学校と会社とでは目的が全く違います。学校は生徒の学力向上や人間的な育成を目的としているため、言われた通りに動いていけば、間違いないのかもしれませんが、**しかし、会社は存続していくための前提として、株主や銀行に利子をつけてお金を返す必要があることから、自社の利益を第一と考えます。**

会社が、最も効率的に利益を上げるためには、どのような方法を採用すればよいと思えますか？一度、経営者の視点で考えてみれば分かりやすいかと思えます。

私たちは、**労働者の視点**で物事を判断しなければなりません。

悲劇はこうして始まります

学生と社会人の大きな違いは責任の重さです。しかし近年、ブラック企業による社員の使い潰しやパワハラ、長時間労働による過労死等の問題がメディアで報道されることによって、多くの方が不安を煽られ、**この先、自分の行動にどう責任を取ったらいのか分からないというのが現状ではないでしょうか？**

このようなとき、不安定な人々は、自分たちを力強く導いてくれるリーダー（先生）のような存在に身を委ねます。そして、何が正しいのかではなく、**誰が言っているのか**で物事を判断するようになります。**つまりは、法律や倫理よりも、その場の「空気」や「感情」が、行動選択の基準として優先してしまうわけです。**過去の歴史的な大惨事や、某カルト宗教の信者による犯罪も、このようにして発生しています。これらは、決して他人ごとではありません。実際に、みなさんの状況はいかがですか？**言われたとおりに動いた結果、本当に間違いないのか、事実をよく観察して下さい。**

「数は力」と言われていますが、その力は、一体どこに向かっているのでしょうか？



「権利」を守って働くため、私たちは学習します。



若い力

第 93 号

2018年 5月1日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

JR 092-2075

NTT092-483-1515